

一般質問

主な質問と答弁

コロナ禍における海水浴場

来夏に向け開設の在り方を見直し 課題を共有し適切な改善に努める

友田 宗也

(民主・無所属クラブ)

質問 本市海水浴場は、県内他市に大きく遅れて閉鎖をした。災害レベルとも言える緊急事態宣言下において、医療崩壊を止めるべく自粛と人流抑制が求められる期間での海水浴場の継続は、近隣住民等の理解を得ることが難しいと考える。来夏に向け、自治体が多量に人流抑制に動けるよう、改善すべきと考えるが市の見解を聞きたい。

答弁 盛り込むことなどを、県に定に時間を要した。市民が不安に感じたことは大変重く受け止めている。来夏に向け、本市においては、海水浴場開設主体の在り方や、来場者数と海の家の出店者数が多い実状を踏まえ、海水浴場運営方法の見直しが必要であると考えている。

地域ボランティア多様なつながりを

栗原 貴司

(市民クラブ藤沢)

東京2020大会が

質問 地域ボランティア活動の裾野を広げるため、自治会・町内会の活動環境を整え加入を促進すること、また、チームFUJISAWA2020など、デジタルツールにより創出された



ボランティア活動をもっと身近に、ウェブサイト開設

答弁 地域でのボランティア活動の裾野を広げるため、自治会・町内会の活動環境を整え加入を促進すること、また、チームFUJISAWA2020など、デジタルツールにより創出された

気候危機への対策 市が率先して取組を

山内 幹郎

(日本共産党藤沢市議会議員団)

質問 8月のIPCC(※1)の報告では、人間活動が地球温暖化に与える影響については疑う余地がないと表明された。本市では、2月に気候非常事態宣言を発出したが、次代を担う若者の先頭に立ち、CO2実質ゼロに取り組む必要があると思う。気候非常事態宣言から半年がたち、市長はこの間どのようなリーダーシップを執り、今後どのようにしていくのか聞きたい。

答弁 気候非常事態宣言にある風水害対策にとどまらず、気候変動により想定される悪影響や脅威を最小限にするという観点から、全体的な地域防災対策や国土強靱化、保健衛生、地域経済などの分野において、適

海水浴場の運営 今夏の経験を糧に

山口 政哉

(市民クラブ藤沢)

質問 今年、片瀬西浜・鶴沼海水浴場がブルーフラッグ(※3)を取得しているが、その他の市内海水浴場におけるSDGsにつながる取組について聞きたい。

答弁 片瀬東浜海水浴場では、海水浴場組合による清掃美化活動のほか、NPO法人が運営するビーチクリーンを取り入れた子ども向けレクリエーションゾーンの設置や、くぎを使用しない建物として、ライフセーバー警備救護所が設置・提供された。

質問 今夏、コロナ禍で海水浴場を開設して得た経験は大きいと思う。運営について、組合も課題があったと受け止めており、将来に向け課題や対策のグランドデザインを考えるべきと思うが市の見解を聞きたい。

答弁 今夏、海水浴場ルールに市独自の感染対策を盛り込むとともに、海に関わる全ての方々の努力により、海や浜における来場者の安全が確保でき、秩序が維持されるなど、開設による一定の役割を果たすことができたと考えている。

豊かさや楽しさの場を形成 村岡新駅周辺地区整備 先進的まちづくりに取り組む

甘粕 和彦

(ふじさわ湘風会)

質問 テレワーク定着等により生活スタイルが変化し、今後は首都依存型のまちづくりから、市のポテンシャルを生かした自立経済圏を構築していく必要がある。住民が幸福感を享受できるよう、村岡新駅周辺地区の整備を進めるべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答弁 村岡新駅周辺地区においては、まちづくり方針で、課題の一つとして記載している「コロナ禍により加速する、生活様式や働き方、価値観の変化を見据えたまちづくり及び魅力となる先導的な働き場づくり」等にとり取り組むかを踏まえ、将来地区像等を位置づけている。

質問 村岡新駅周辺地区まちづくり方針には、「先進的な研究開発や業務機能など、クリエイティブ産業の集積と発信」とあるが、具体的なスケジュールを聞きたい。

答弁 新駅周辺地区は、今後の基盤整備を実施した上で、具体的な土地利用が可能となり、時期は新駅開業の前後と想定される。

質問 研究開発拠点の形成に向けては、官民連携で取り組むことを目指し、新駅周辺地区で目指す拠点の姿等を

答弁 積極的に情報発信し、機能集積につなげることが重要と考える。

ワクチン接種率向上 平日夜間接種を強化

平川 和美

(藤沢市公明党)

質問 20代、30代の若い世代はコロナウイルスの感染率が高く、ワクチン接種の促進が重要であるため、各自治体の特徴にあった創意工夫が求められると思う。本市として、どのように県内平均より遅れている接種を強化していくか、見解を聞きたい。

答弁 接種世代の移行に伴い、丁寧で安全安心な個別接種から、より回数が多く、効率的な集団接種を強化するよう取り組んでいる。

質問 第5波では家庭内感染が多く報告されており、妊婦への家庭内感染リスクを減らすことが重要である。妊婦だけでなく、パートナーや同居者への優先接種が望ましいと考えるが、市の考えを聞きたい。

答弁 妊娠中の方が、安心して出産に臨める環境づくりを進める必要があると認識している。



来夏に向けて市民が安心できる海水浴場を目指す



9月27日から平日夜間接種会場を開設=F.I.C富士ビル本館

(※1) IPCC…気候変動に関する政府間パネル。世界気象機関(WMO)と国連環境計画(UNEP)により設立された組織で、地球温暖化に関する科学的・技術的・社会経済的な評価を行う。
(※2) バックキャストリング…未来を予測する際、目標となるような状態を想定し、そこを起点に現在を振り返って今何をすべきかを考える方法のこと。
(※3) ブルーフラッグ…海辺の国際環境認証。33項目の認証基準を満たしたビーチ、マリナー等はフラッグを掲げることができる。